



新年明けましておめでとうございます。平成27年の新春（こぞ）を皆様にはお健やかに迎えられることを、心よりお慶び申し上げます。

愛知学院は本年創立139周年を迎え、中部地区で最も古い歴史と伝統をもつ私学であります。大学は開学61年で

「高等教育の

質的転換」

学院長 小出忠孝



第193号

編集発行

愛知学院大学
事務局 庶務課

☎ 470-0195

愛知県日進市岩崎町
阿良池12

電話〈0561〉73-1111(代)

表立った役職に就かなかったため、広く知られていないと思います。しかし温厚篤実な性格の立派な人柄であり、今回の学長選挙委員会で学長に推薦されたのは、間違いない人選であったと思います。先生は「広く関係各位の意見を充分に取入れて、本学を今まで以上に発展させるべく努力したい」と表明されています。今後全員で新学長を後援し、その手腕に期待したいと思っています。

「高等教育の改革」

現在わが国では人口・産業・社会の各構造が大きく変化している上、世界的な景気低迷の波に見舞われ厳しい状況が続いています。わが国も景気回復のためデフレ脱却の政策がとられていますが、今後の進展を見守る必要があります。しかし社会は本格的知識基盤社会を迎えわが国を繁栄させるためには、質の高い高等教育による高度の専門的能力を有する人材が益々重要となってきます。しかし現状は18才人口の減少と大学の急増により、大学全入と学生の学力低下が強く指摘されています。この様な大学教育の質の低下に対し、文科省の中教審或いは教育再生実行会議等では「大学改革実行プラン」「これからの大学教育の在り方（提言）」「教育振興基本計画」等を次々と発表し、大学教育の質の低下に対する各大学の教育改革に対して強い勧告を行っています。最近の社会の求める人材が高度化・多様化するなか、大学は教育内容を質的に改革、充実させ、学生が徹底して学ぶことのできる環境を整備する必要があります。そのために、学生が主体的に問題を発見し、解を見いだしていくアクティブラーニングを中心とした

教育への質的転換を促進する事が必要です。さらに十分な質を伴った学修時間を欧米並みに増加することや、学修支援環境の改善などにより、社会の期待に応える学生を送り出す努力が必要であります。

「教育改革に対する評価」

文部科学省は教育改革に対する各大学の姿勢を計る為に「私立大学等改革総合支援事業」を策定しました。この事業は(1)教育の質的転換、(2)地域発展、(3)産業界・他大学等との連携、(4)グローバル化などの改革に全学的に取組んでいる私立大学に対し、経費等の私大助成を重点的に支援する政策で、本年度申請745校中412校が選定されました。本学はタイプ1、3に申請し、「産業界・他大学との連携」(選定率19%)に採用されましたが、「教育の質的転換」については不採用でした。本事業に対する各大学の応募状況、選定結果等の一覧表が示されたので、一目瞭然として各大学の教育改革への取組みとその結果が明示される結果となりました。本学ではすべての項目について改革を進めています。全学的な取組みでは不十分と判断された結果で、全学的に取組む改革が求められている以上、全学をあげて取組む姿勢を示す必要があります。全教職員の協力を要請する次第です。

「都心キャンパス」

近年、郊外の大学の都心回帰が盛んになっています。本学も3年前より開発を進めてきた都心キャンパスは、大名古屋の中心、名古屋城のある名城公園の東に隣接する静かな環境で、教育研究に最適な地区です。さらに地下鉄名城公園駅の前にありJR東海道

線・中央線、名鉄、近鉄等すべての主要鉄道に直結し交通の便は最高で、名古屋近郊の主要都市から60分以内の所にあります。この地区に商、経営、経済のビジネス系3学部、2学年以上の専門課程の教育を昨年より開始しました。キャンパスのシンボルである10階建のゼミ室・研究室棟を中心に、講義・大教室棟、図書館・PC教室棟、食堂・学生ホール棟を配置しています。教育設備は最新のAV設備、他キャンパスとの遠隔授業システム、双方向の授業を可能にするアクティブラーニング教室、一人またはグループの学習効果を深めるラーニングコモンスの開設等、教育設備は最新です。また大都市名古屋の知的拠点の構築、官公庁、経済界及び各界との交流拠点の形成、市民の生涯学習のための市民講座の開設等、経済・文化発展の核、社会貢献センターを目指します。

「私学を巡る厳しい環境」

現在わが国は18才人口が110万人へ減少する中で、大学は250校増加のため大学全入時代を迎え、さらに志願者が東京、関西の有名、大規模校へ集中するため、地方の中小規模265校(45・8%)が定員割れとなっています。この様に私学を取巻く厳しい環境の中で大学として最も重要なことは「学生に魅力ある大学、就職に強い大学」になる事で、教育内容を質的に転換・充実強化し、学士力を充分に身につけ就職させる事です。そのため全教職員が「私学危機」の意識を持ち、大学教育の充実強化に努め、この厳しい時代を切り抜けるために努力される事を、年頭にあたり全教職員に特にお願いする次第です。

新年の挨拶

後援会 会長 青山 稔



新年明けましておめでとうございます。大学後援会の皆様方、大学教職員の皆様方に於かれましては、輝かしく新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は4月に新しく名城公園キャンパスが開校され、10月には佐藤新学長がご就任されました。愛知学院大学にとりまして言わば新しい時代の幕開けと言えます。佐藤学長に於かれましては、少子高齢化に伴い18歳人口減少の一途を辿る大変厳しい社会情勢の中、大学ご自身の発展・躍進に一層のご尽力を頂けるものと心よりご期待申し上げます。大学後援会と致しましては昨年5月の総会でご決議頂きました事業を順調に進めてきております。昨年6月には、後援会のメインの事業でもあります支部懇談会を全国22の地域で開催させて頂きました。各支部長様、副支部長様をはじめ関係各位の方々のおかげをもちまして非常に多くの会員の皆様方にご参加を頂き、実り多き会を開催することが出来ました。ありがとうございます。皆様からご拝聴致しましたご意見、ご要望等は、引き続き大学側と協議し学生がより充実した環境の中で学生生活を送ることが出来ますよう生かしていきたいと思っております。来年度からはより一層多くの方にご参加頂けますよう開催地

域を分散化し開催会場を増やすよう計画をしております。一人でも多くの会員の皆様のご参加を心よりお願い申し上げます。そのほか、クラブ助成、設備助成、学内緑化事業に対する助成、学費支弁者の経済的事由で休退学を余儀なくされる学生に、応急的に学業継続を支援する目的で設けられております応急奨学金制度に対する助成、災害共催会への助成、本山参拝への助成等々、学生の為に一層充実した各種助成を今後も行っていきたいと思っております。

又、2011年3月に東北地方を襲いました東日本大震災では多くの方々がお亡くなりになりました。大変悲しいことではありますが本校の学生さん一人犠牲になられました。この震災を機に本校では学生ボランティア活動が活発になり、毎年多くの学生達が東北地方へボランティアに出かけています。一昨年、昨年と彼らの活動を見させて頂きましたが、学生達の活動を満面の笑みと感謝の表情で接して頂ける被災者の方々と、精一杯、行動で気持ちを伝える学生達。強い絆を感じました。ややもすると自分本位になりがちな風潮のある昨今、この学生達の純粋な心に変な感動を覚えました。後援会として今後も出来るだけのバックアップをしたいと思っております。本年も愛知学院大学の益々の発展と皆さま方のご健康をお祈り致しまして、新春のご挨拶とさせていただきます。



協調と協働の精神

学長 佐藤悦成

新年あけましておめでとう
ございます。平成27年の年頭
にあたりまして、本学をより
発展に導くため、教職員の皆
様と相和して頑張る所存で
ございます。何卒ご協力をお願
いいたします。

愛知学院は、本年、創立1
39年を迎えます。建学の精
神である「行学一体・報恩感
謝」に基づき、先人が培って
きた長い歴史と伝統を受け継
いで、先端の知識と技術をも

って社会に貢献できる人材の
育成に一層尽力してまいりま
す。そのためには、教育・研
究のさらなる充実を図るため
の大胆な改革が必要と実感し
ています。現在、本学が取り
組んでいます教育改革、組織
革新の推進と、地域連携の促
進、グローバル化への積極的
取り組み等は、大学発展に欠
かせない要件となっております。
大学を取り巻く昨今の厳し
い社会環境の中に在っては、
大学全体で一致協力して難局
に対処してゆくことが不可欠
と考えています。文部科学省
の指針には、各大学が自らの
改革に、主体的、積極的に取



り組むよう、自発的な改革促
進が示されています。昨年度、
本学は「私立大学等改革総合
支援事業」において、「タイ
プ3（産業界・他大学等との
連携）」に採用されましたが、
今年度は更に「タイプ1（教
育の質的転換）」に採択され
るよう、主体的・積極的に改
革に取り組んでまいります。
社会から求められているの
は大学改革の「実行」です。
本学は、これを教育機関とし
ての大学への期待と受け止め、
教職員の総意として着実に改
革を実行していく必要がある
と強く感じています。本学で
は、この状況を好機と捉え、
これから大学に入学しようと
している諸君の要望に対応し
中・長期的な大学改革の工程
を描くとともに、それに基づ
く全学的なグローバル化と教
育・研究改革の実行、運営機
能の強化を図っていきたく
と思います。

・教育目標

豊かな人間性と高い倫理観
を兼ね備えていなければ、い
くら専門的な知識を習得した
としても社会で役に立つこと
はできないと考えています。
協調と協働の精神を発揮でき
る人材をこれからも育ててま
いります。

(1) 教育改革…創造的で広い視
野を持ち、柔軟な思考ので
きる人材育成を積極的に推
進する。その一環としてア
クティブラーニングの推進、
シラバスの見直しと学部間
連携の強化を図るが、基本
は教職員全員が改革の必要
性についての共通認識を持

つことである。

(2) 組織改革…学部組織の再編
成について詳細を検討中
である。また、教職教育セン
ター（仮称）を設置して、
教職教育の機能強化を図る。

(3) ガバナンス改革…学校教育
法改正に伴い教授会が審議
機関として位置づけられた。
しかし、本学に於いてPDC
A体制を構築してゆくには
全教職員の協力が不可欠
と考えている。Plan（計
画）、Do（実施・実行）、
Check（点検・評価）、
Act（処置・改善）の4
段階を順次行い、1周して
最後のActを次のPDC
Aサイクルに繋いで螺旋を
描くように段階を上げて、
継続的に改革を進めたい。

その実践には、理解と協調
が基本となるのはいうま
でもない。
また、上記の改革に加えて、
本学には以下の3つの重点課
題があります。

(1) 地域連携・社会貢献…地域
連携センターが積極的に活
動を始めて成果が現れ始め
ていることは評価できる（連
携事業を進める場合には、
大学を介して行うことが文
部科学省の大学支援事業の
評価となることを理解して
いただきたい）。また、同
窓会・後援会との協力関係
を強めて、さらなる産学官
連携に取り組む。

(2) 国際交流・留学生の拡大…
大学のグローバル化が進ん
でいない現状がある。具体
的には、文部科学省が方針
として示した大学全体のグ
ローバル教育への対応、留
学生の送り出しと受け入れ
態勢の充実などが急がれる。
海外インターンシップも視
野に入れた教育体制の構築
が必要である。

(3) 財政問題…日進キャンパス
の活性化、MKCの進化、
楠元・末盛キャンパスの充
実などの課題への対応が急
務となっていることから、
本学も収入と支出のバラン
スを心掛ける必要がある。
以上、これらの諸課題に向け
て、本学は一層の努力をする
必要があります。

・大学運営のあり方
大学にとって重要なことの
ひとつに、多様性の受容があ
ります。思想信条の多様性、
学問と教育の多様性、年齢・
性別や国籍を含めた人として
の多様性を受容することです。
いかに多様性を認めて寛容を
保持してゆくかが大学運営の
基本といえます。学問は各分
野で融合と細分化を繰り返し
ており、絶え間ない進歩と変
容を遂げています。現代社会
は一層複雑化して、大学は
様々な環境の変化に晒されて
います。その中で多様性を認
めて、学問と教育の府として
の使命を果たし、時代の要請
に応じていかなければならな
りません。

・将来に向けて

大学を取り巻く社会変動の
前兆ともいえる「2018年
問題」により、受験人口の減
少という「大学淘汰」の到来
が予想されています。いずれ
の大学にとっても決して看過
できない現実であり、否応な
く生き残りをかけた改革が強
く求められています。

誤解のないように付け加え
ますと、ここに記した本学に
ついての私見は、大学内外の
方々の様々なご意見・ご批判
を通して、大学の今後を担っ
て下さる方々とともに、より
よい方向に進む努力を重ねて
いくことを目指したものです。
大学は決して閉じられた空間
ではなく、教職員、学生諸君、
OB・保護者の皆様、更には
社会の人々と協働して作り上
げていくものだとは信じて
います。今後は、短・中・長
期にわたる改革プログラムの
実行、生涯にわたる主体的な
学びと協働の心を育む教育を
さらに深化させてまいります。

来年度の創立140周年に向
けて、全学の力を結集して新
しい歴史の創造に邁進すると
ともに、大学の社会的使命を
果たしてゆく所存です。本年
も引き続き、皆さまのご支援
を賜りたく、お願い申し上げ
ます。最後になりましたが、
本年が皆様方にとって素晴ら
しい一年となりますように心
より祈念し、年頭の挨拶とさ
せていただきます。

STEMの設定、教員間の連携
による教育・研究組織の柔軟
性の確立などを進める必要が
あります。強みを活かし、課
題を克服する様々な施策の実
施による効果的かつ効率的な
大学改革の実行は緊急の課題
です。教職員の皆様にはこの
点をご理解いただき、さらな
るご尽力を切にお願いする次
第です。

・将来に向けて
大学を取り巻く社会変動の
前兆ともいえる「2018年
問題」により、受験人口の減
少という「大学淘汰」の到来
が予想されています。いずれ
の大学にとっても決して看過
できない現実であり、否応な
く生き残りをかけた改革が強
く求められています。

誤解のないように付け加え
ますと、ここに記した本学に
ついての私見は、大学内外の
方々の様々なご意見・ご批判
を通して、大学の今後を担っ
て下さる方々とともに、より
よい方向に進む努力を重ねて
いくことを目指したものです。
大学は決して閉じられた空間
ではなく、教職員、学生諸君、
OB・保護者の皆様、更には
社会の人々と協働して作り上
げていくものだとは信じて
います。今後は、短・中・長
期にわたる改革プログラムの
実行、生涯にわたる主体的な
学びと協働の心を育む教育を
さらに深化させてまいります。

来年度の創立140周年に向
けて、全学の力を結集して新
しい歴史の創造に邁進すると
ともに、大学の社会的使命を
果たしてゆく所存です。本年
も引き続き、皆さまのご支援
を賜りたく、お願い申し上げ
ます。最後になりましたが、
本年が皆様方にとって素晴ら
しい一年となりますように心
より祈念し、年頭の挨拶とさ
せていただきます。

歯学部 後藤滋巳教授が 日本矯正歯科学会賞を受賞

歯学部歯矯正科学講座の後
藤滋巳主任教授は、昨年まで
日本矯正歯科学会の理事長を
3期6年の長期にわたり務め
た（平成21年から平成26年）。
その間、長年の懸案事項であ
った学会の1本化や歯矯正正
用アンカースクリューの薬事
承認、国際矯正歯科学会大会
（WFO）の日本誘致、認定
医のバイパス制度設立、管理
指導医の創設など数々の実績
をつくり上げた。

このたび、その功績がたた
えられ、昨年10月22日、日本
矯正歯科学会大会（幕張）に
おいて学会賞を受賞した。こ
の賞は、創立88年を超える矯



本学の職務発明2件

特許権を取得

本学と松谷化学工業(株)が共
同で出願した発明「焼結二酸
化チタンおよびデキストリン
を含有する骨補填材」につい
て、平成26年9月14日に米国
特許庁から正式に特許権が付
与された。本発明は、歯学部
の河合達志教授および浅井崇
文非常勤助教によるものであ
り、二酸化チタンとデキスト
リン（多糖類の一種）を主成
分とした生体へ安全に使用で
きる新たな骨欠損補填材料で
ある。

また、本学とベルメック
電機(株)が共同で出願した発明
「生体親和性に優れたインプ
ラント材料の処理方法」につ
いて、平成26年9月19日に日
本国特許庁から正式に特許権
が付与された。本発明は、歯
学部村上弘特殊診療科教授に
よるものであり、オゾン水を
利用したインプラント材料の
新たな洗浄方法である。



今後、本学はそれぞれの企
業による本特許技術を利用し
た製品開発に協力していく予
定である。

感謝狀贈呈

学生および教員のワーキングスペースとして平成25年10月にオープンした日進キャンパス図書情報センターのラーニング・コモンズが、このたび日本経済新聞社と一般社団法人ニューオフィス推進協会主催による「日経第27回ニューオフィス賞」の「中部ニューオフィス審査委員賞」を受賞した。

ラーニング・コモンズ（201席）は、スタディーエリア（37席）、グループワークエリア（64席）、プロジェクトルーム（32席）のほか、ブレゼンの練習や共同学習ができるプロジェクトステージ

(18席)など、新しい感覚の
共同学習施設。開設から約1
年が経過して、入室者は延べ
約5万人を大幅に超えており
1日の入室者が900人以上と

ということもある。学部学生は、個人利用にとどまらずグループ、クラブ活動の仲間など自主的に利用している。教員は、ゼミやプレゼミの授業での利用が主体である。時には、学外者の利用もあり、「小・中学生のための法教育講座」（昨年3月2日実施）の会場として、プロジェクトの会場として、プロジェクトで使用したり、フロアで法学部の学生と一緒に話し合い発表原稿を作成するなど、さまざまな場面で利用されている。

学生の皆さんは、この素晴らしい施設をさらに活用していただきたい。

「ESD大学生リレー・シンポジウム」を開催

昨年9月27日（土）、本学のけやきテラスで「ESD大學生リレー・シンポジウム」が開催された。11月11・12日に「ESDユネスコ世界会議」が名古屋で開催されるのを契機に、愛知学長懇話会が企画したもので、愛知県内の7大学がリレー形式で開催した。

本学は「人々の暮らしと持続可能性」地域の中でよりよく生きる」をテーマに、心身科学部心理学科の吉川教授による「動作法による地域支援」と題した講演と、心理学科・心理学科の学生グループ3組による地域支援に関する発表を行った。発表後、質疑応答や意見交換の時間を設け、盛況のまま閉会した。

また11月11日（火）、この

発表のうちのひとつで岐阜県郡上市で長年続いている臨床動作法を用いた地域支援「郡上ストレスとらまい会」の活動の紹介を、「ESDユネスコ世界会議」の併催イベント「ESD交流セミナー」において同研究科の小川佑香さんと若山和樹さんが行った。

大学生のための特別講演会

第6回 安藤美姫氏

第7回 茂木健一郎氏

「大学生のための特別講演
会」が昨年10月1日（水）に
プロスケーターの安藤美姫氏
11月10日（月）に脳科学者の
茂木健一郎氏を迎えて100
周年記念講堂で開催された。

った10代、「フアンの方から
たくさんの厳しい言葉の手紙
をもらった。これもそれぞれの
人の意見だと捉え、いつか
見返そうと思ってきた」と話
した。

学生には「弱音を吐いても
いい。泣いてもいい。最後まで
あきらめないことはその時
だけでなく、ずっと後になっ

でも輝いていて、自分の力になる」「失敗してもあきらめず次につなげることができれば、それは失敗でなく経験だと思う」と力強く語りかけた。

第7回目は茂木健一郎氏が「脳と創造性・自分を輝かせるための秘訣」と題して講演を行った。いきなり「下克上を英語でなんと言うか。」

第6回目は安藤美姫氏が「あきらめない!」安藤美姫ス
「トリー」〜と題して平野裕
加里アナウンサーとのトーク
ショー形式で行われた。20
06年のトリノ五輪で思うよ
うな成績が残せず、何を食べ
ても太り体形が維持できなか



と始まった講演会は、テレビで見ると勢いそのもので、途中から茂木氏から指名を受けた学生が次々に登壇し、トーク形式で講演が行われた。学生の意見に対し、茂木氏が華麗に返答する様に集まった100名近い聴講者から笑みがこぼれた。

最後に学生に対して「自分の劣等感と向き合ってほしい！劣等感とは個性であり、そこを磨くことで強みにもなる」と言葉をかけ、自分自身とも向き合う中身の濃い時間となった。

AGU図書館情報センター・日進市立図書館共催
センター所蔵16ミリ映画上映と

平成22年4月に日進市と本学の官学連携の協定が締結されてから、現在では、様々な交流が行われています。本学図書館情報センターでは、先回の16ミリ映画「奥三河の花祭り」に続き、センター所蔵の16ミリ映画「ローマからルネッサンスへ」（制作・岩波映像）の上映会と講演会を日進市立図書館・視聴覚ホールにて、去る平成26年11月7日（金）に開催しました。

16ミリ映画鑑賞後、本学名誉教授、橋本龍幸先生による講演を行いました。「ヨーロッパ中世人の世界観——『慈善』の心をめぐって——」という演題にて、ヨーロッパ中世の人々の当時の世界観をわかりやすく解説、さらに、キリスト教における「慈善」の心についてなど、興味深いお話をしてく

いいただきました（参加者約60名）。今年は、日進市市制20周年記念ということから、日進市より、参加者全員に、市制20周年記念のクリアファイルが配られました。平成27年度は、6回目になります。次回もまた、この地域の皆様が多くのご参加をいただけるように計画致します。

（図書館情報センター事務長 足立祐輔）



大本山永平寺
大本山総持寺
安居（あんご）説明

昨年11月26日（水）午後1時30分より、日進キャンパス本部棟第2会議室において安部礼明会が開催された。安部

の準備・心構えなどについてわかりやすく話され、出席した寺院の子弟も熱心に老師の話に聞き入っていた。

（あんこ）とは、僧が一定期間、外出を避けて修行に専念することをいい、卒業後に僧の心構えを作るのに有意義なものとなった。

堂への入門を希望する掛塔（かた）志願者6名が出席した。

はじめに内田友宏事務局長の挨拶の後、曹洞宗大本山永平寺副悦（ふくえつ）・堀内正学老師、曹洞宗大本山総持寺維那（いのう）補兼講師・高屋継仁老師による安居説明が行なわれた。

兩本山の老師は、一本山での修行とは何か。」「今までの日常とは違う環境での生活とは何か。」また、修行にあたって



名城公園キャンパスに多くの見学者

省CO₂技術・防災機能・教育設備に

注目集まる

昨年4月に開校した名城公園キャンパスに今も多くの見学者が訪れている。名古屋市の東に位置する絶好のロケーションと、名古屋で人気のカフェ「猿カフエ」の新店で開校当初から多くのメディアで注目されることになった同キャンパスだが、現在は建築物の環境性能で最高ランクの評価である「CASBE名古屋Sランク」を取得し「平成24年度住宅・建築物省CO₂先導事業」に採択された国内最新のエコキャンパスとしての実力が注目され始めた格好だ。

同キャンパスは愛・地球博やCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)で活躍した。今後も同キャンパスに設置されている「名城公園キャンパス省CO₂推進委員会(委員長・押田財政部局長)」が中心となり、日々のデータ検証をもとに「快適性」と「省CO₂」を兼ね備えた良質な学修環境の確保を目指している。

JAL、近畿日本ツーリストと
グローバル英語学科
産学連携の取り組み

文学部グローバル英語学科では、JAL(日本航空)、近畿日本ツーリストと共同で旅行商品開発プロジェクトを実施している。学生の新たな発想とプロのノウハウを融合させ、これまでにない旅行プランを提供し、旅行業界の活性化に貢献することを目指している。プロジェクトに参加しているのは松岡ゼミの学生20名。「学生が作るまち歩きハワイ・秋・冬商品」を商品テーマに、「ハワイの街を歩いて楽しむ」というコンセプトで旅程(スケジュール・モデルコース)、宿泊地(ホテル・部屋)、食事の有無などすべてをプランニングして

いく。昨年9月のキックオフミーティングでJALと近畿日本ツーリストの担当者から説明を受け、これまでに事前調査・研究活動を行ってきた。また、昨年12月13・14日に行われた中部国際空港セントレアでの「JALわく旅フェア」で企画商品の紹介とクイズイベントを行うなどの活動を行った。今後は現地の視察研修ツアー、中間レビューなどを経て、6月以降旅行商品として販売される予定である。学生たちの今後の取り組みが期待される。

第11回
英語と日本語による
スピーチの祭典

11月29日(土)、日進キャンパス学院会館ホールにおいて、第11回「英語と日本語によるスピーチの祭典」が開催された。英語部門と日本語部門(留学生対象)に分かれ、総勢34名の学生が出場した。11回目となる今回は、「世界の中の日本」をテーマにスピーチを行った。

- 【学長賞】
武井 実咲(文・グローバル英語2年)
陳 星威(経営・経営1年)
- 【国際交流センター所長賞】
裕 沙也佳(文・グローバル英語1年)
ラウス シンディ(文・国際文化1年)
- 【中日新聞社賞】
目黒 一誠(文・グローバル英語2年)
興 立鵬(経営学研究科 修士2年)
- 【日進市国際交流協会会長賞】
張 英俏(経営・経営2年)
- 【長久手市国際交流協会会長賞】
加藤 美奈(文・国際文化2年)
- 【審査委員特別賞】
松田 亜里沙(心身科学・健康栄養1年)
陳 坤(留学生別科)
- ※()内は所属学部・学科・学年

サッカー部全国大会出場
2年連続12回目

本学サッカー部は、第53回東海学生サッカーリーグにおいて準優勝の成績を収め、東海地区第2代表として第63回全日本大学サッカー選手権大会(インカレ)に出場した。BMWスタジアム平塚で昨年12月11日(木)に行われた1回戦では、北海道教育大学

男子バレー部・山内晶大選手
全日本代表チームで活躍

男子バレーボール部の山内晶大選手(総合政策学部3年)が、第17回アジア競技大会において龍神NIPPONの主力メンバーとして銀メダルを獲得した。山内選手はミドルブロッカーとして全ての試合に先発出場、204センチの身長を活かしたブロックと鋭いサーブで活躍した。



帰国後、佐藤悦成学長、高木敬一学生部長に試合結果を報告し、学長より「努力されたと思います。怪我に気を付け、さらに世界を目指して精進してほしい」と激励を受けた。

平成26年度の秋季公開講座は、「この人を見よー知ってほしいという知らない人物伝」を総合テーマに昨年10月18日(土)から11月29日(土)の日程で開講された。各学部の教員が6回にわたり講演を行い、最終日には閉講式が行われ清水義和・公開講座委員長の挨拶があり閉幕した。

平成26年度秋季公開講座
総合テーマ
「この人を見よ知ってほしいという知らない人物伝」
閉幕

は206人に上った。



午後からは、早稲田大学法学部の大場浩之教授による講演会が「不動産所有権の移転時期―口約束だけで権利が移転する!?」と題して行われた。

午後3時10分より討論会の成績発表・表彰式・講評があり閉会した。優勝者には学長杯・賞状、ならびに副賞として

をテーマに熱い議論を交わした。この催しは、国際交流センターの主催で行われ、後援に中日新聞社、日進市国際交流協会、長久手市国際交流協会、(株)熊谷組のもと実施されている。外国語学習の成果を発表するだけでなく、日本人学生と留学生が一緒に参加することで、国籍や文化の違いの考え方を理解し交流を深め合う場にもなっている。当日は本学学生以外に、一般の方にもお越しいただいた。各部門の表彰者は上記の通り。

法学部が法学部の学生を対象に行っている学生法律討論会が昨年11月19日(水)、午前10時から日進キャンパス6501教室で開催された。この討論会は毎年実施され、今回で33回目となる。

第33回法学部
学生法律討論会を開催

優勝 鈴木 裕平(3年)

優 齊木 美穂(3年)

3 寺澤 知紗(3年)

位

て賞金3万円(図書券)・記念品が贈られた。受賞者は次のとおり。

就職活動について

4年生の方へ

新年を迎えご家庭では団欒のひと時をお過ごしのことと思います。卒業後の就職先が決定している学生は、これから始まる社会人としてのマナーをはじめ話し方等を研究しておいてください。

また、今も就職活動が続いている学生諸君にはキャリアセンターは全力でサポートしていきますので立ち寄ってください。中堅・中小企業は今だに4年生の採用活動を行っており、4年生に対する求人は12月初めの時点で約9500社で、前年度比12%増となっております。愛知学院の学生が欲しいと言っているだけの企業がたくさんあります。現在でも一週間平均で200社を超える求人が寄せられています。これらの求人はネット上でも確認できますので、これを基に就職活動を進めていくようにご案内ください。

そして、毎日1社ずつ学内で企業説明会を行っていますので、ぜひ参加していただくようご案内ください。この学内説明会は「就職ラストサポート」と銘打ち、卒業式を迎える3月まで続けてまいります。

最後に、就職が決まっているもののキャリアセンターに報告していない、あるいは未決定で活動状況を報告していない学生がいますので必ず報告するようお願いください。

3年生の方へ

昨年11月1日(大学祭中)に3年生の保護者を対象にしたガイダンスを実施いたしました。300名を超える保護者の方にご参加いただき、講演及びパネルディスカッションを実施いたしました。ご出席いただいた保護者の方には感謝申し上げます。

さて、就職活動が今の大学3年生から「12月」ではなく「3月」に繰り下がり、企業も大学も手探りの活動が続いています。企業は「できるだけ早く学生に接触したい」と3年生の秋や冬にインターンシップ(就業体験)を実施する企業も多く、「新・就活元年」を巡る状況は混沌としています。しかし、企業の採用意欲は高まり、「量より質」を重視する大手企業の採用傾向は依然として強くなりそうです。

さて、保護者の方へのお願いです。就職活動は学生自身が遂行して行かなくてはなりません。インターネット上で企業情報を集めることくらいは手伝うことができますと思いますが、保護者の方が直接企業に連絡するのはやめて下さい。企業側は、そうした保護者の子どもは嫌います。自分で考え、行動できない学生は採用されません。「子離れ」学生側からすれば「親離れ」が必要です。

今の学生は過酷な環境での就活を強いられます。関心も示さずに「あなたの好きにしてください」と突き放すのはやめてください。まずは大いに関心を持ち、今どきの就活を知ってください。陰でサポートし様子を見ながら、悩んだり困ったりしているようなら状況を聞いてみましょう。もちろん相談されたら積極的に助言してあげてください。

また、キャリアセンターでは、就活時に使える「履歴書の書き方講座」や「エントリーシートの書き方講座」など無料講座を数多く行っていますので活用してください。進路相談などはカウンセラーが常駐して丁寧に行っておりますので気軽に利用してください。

キャリアセンター就職課長
伊藤孝真

保護者向け 就職ガイダンスを開催

3年生の保護者を対象にした「保護者向け就職ガイダンス」が、大学祭期間中の11月1日(土)、日進キャンパス12号館G105教室で開催された。

保護者の方にも本学の就職サポート体制や就職活動の現状をご理解いただき、ご子女との会話やサポートに役立てていただこうと昨年より開催しており、今年度は就職活動スケジュールの変更など、就職環境が大きく変わる中で午前・午後の2回開催された。

ガイダンスでは佐藤悦成学長の開会挨拶の後、「マイナビ」編集長の三上隆次氏が「変わる就職戦線と企業が求める人材」と題して、最新の就職活動事情や保護者にできる支援などについて講演した。休憩をはさんで「私の就職活動」と題したパネルディスカッションが行われ、就職が内定した学生4名と三上編集長、目次和子就職課課長補佐が実際の就職活動の様子について学生の経験を交えて紹介した。

当日は雨天にもかかわらず遠方に在住の方も含め約350名が出席した。また、「学生さんの生の声が聞けてとても参考になった。」「自分たちの時代と現在の就職環境の違いがよくわかった」などの声が多く寄せられた。

学内就職セミナー
2015
参加予定企業一覧

3月2日(月) スクール形式

No.	企業・団体名	業種
1	井村屋グループ(株)	メーカー:食品・食料
2	山崎製パン(株)	メーカー:食品・食料
3	タカラスタンダード(株)	メーカー:インテリア・建設・住宅設備
4	JTBグループ(JTB中部)	サービス:旅行代理店

3月3日(火) スクール形式

No.	企業・団体名	業種
1	セキスイハイム中部(株)	建設業:住宅
2	敷島製パン(株)(Pascos)	メーカー:食品・食料
3	JR東海[東海旅客鉄道(株)]	輸送:陸上
4	瀬戸信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合

3月3日(火) ブース形式

No.	企業・団体名	業種
1	地建興業(株)	建設業:総合(土木・建築)
2	協和フジタ	建設業:総合(土木・建築)
3	協和サキホーム	建設業:住宅
4	パナホーム(株)	建設業:住宅
5	三井不動産リアルティ(株)	不動産取引業(建物・土地)
6	日本ハウズイング(株)	不動産賃貸業(賃貸・管理)
7	金印(株)	メーカー:食品・食料
8	日本食研ホールディングス(株)	メーカー:食品・食料
9	横浜乙女	メーカー:食品・食料
10	金剛化学繊維(株)	メーカー:繊維工業
11	クロスプラス(株)	メーカー:繊維製品・衣料
12	サンラバーグループ	メーカー:繊維製品・衣料
13	新ナカフコ(株)	メーカー:繊維製品・衣料
14	協和ダンボール(株)	メーカー:パルプ・製紙・紙製品
15	新日本法現出版(株)	メーカー:出版・新聞
16	大版印刷(株)	メーカー:印刷・印刷関連サービス
17	阪神印刷(株)	メーカー:印刷・印刷関連サービス
18	あすか製薬(株)	メーカー:化学・医薬・化粧品
19	協和化学研究所	メーカー:化学・医薬・化粧品
20	岐阜プラスチック工業(株)	メーカー:プラスチック製品
21	協和柳工業	メーカー:自動車・輸送機器・関連
22	ボパール興業(株)	メーカー:その他製品
23	センコー(株)	輸送:倉庫・物流・運輸関連サービス
24	中部資材(株)	輸送:倉庫・物流・運輸関連サービス
25	東陽倉庫(株)	輸送:倉庫・物流・運輸関連サービス
26	トヨコム(株)	輸送:倉庫・物流・運輸関連サービス
27	丸太運輸(株)	輸送:倉庫・物流・運輸関連サービス
28	キムラユニティ(株)	商社:総合
29	ヒタコ(株)	商社:繊維製品・衣服・身の回り品
30	八木兵衛(株)	商社:繊維製品・衣服・身の回り品
31	吉岡(株)	商社:繊維製品・衣服・身の回り品
32	食品(株)	商社:食品・飲料
33	協和ミックス	商社:食品・飲料
34	協和和	商社:食品・飲料
35	アルフレックス(株)	商社:医薬・化学・化粧品・ゴム・プラスチック
36	ゴムノイナキ(株)	商社:医薬・化学・化粧品・ゴム・プラスチック
37	協和メディセオ	商社:医薬・化学・化粧品・ゴム・プラスチック
38	佐久間特殊鋼(株)	商社:金属・鉱物・金属製品
39	三協(株)	商社:機械器具・OA製品
40	三立興産(株)	商社:機械器具・OA製品
41	杉本商事(株)	商社:機械器具・OA製品
42	協和東陽	商社:機械器具・OA製品
43	協和フューチャーイン	商社:機械器具・OA製品
44	三菱電機環境システムズ(株) 中部支社	商社:機械器具・OA製品

45 峰澤銅機(株)	商社:機械器具・OA製品
46 ヤチヨコシステム(株)	商社:機械器具・OA製品
47 リコージャパン(株)	商社:機械器具・OA製品
48 初穂商事(株)	商社:建材・木材・再生資源
49 株式会社リバー	商社:家具・インテリア・什器・陶器
50 オザワ科学(株)	商社:科学機器
51 辰巳屋興業(株)	商社:自動車用品・特殊鋼
52 平和紙業(株)	商社:各種紙類・紙素材
53 清水屋	流通:百貨店・総合スーパー
54 株式会社三越	流通:百貨店・総合スーパー
55 株式会社オキスパー	流通:飲食料品・食品スーパー
56 株式会社ヤマナカ	流通:飲食料品・食品スーパー
57 タニザワフーズ(株)	流通:レストラン・外食・給食
58 日本ゼネラルフード(株)	流通:レストラン・外食・給食
59 株式会社パル(株)	流通:自動車販売・自動車部品
60 サンアイ自動車(株)	流通:自動車販売・自動車部品
61 株式会社カーマ	流通:家具・建具・什器・家電・ホームセンター
62 株式会社クリエイティブ(東急ハンズ)	流通:その他(メガネ・楽器・書籍・スポーツ等)
63 株式会社ギンギヤ(ドラッグギンギヤ)	流通:その他(メガネ・楽器・書籍・スポーツ等)
64 株式会社カワフマシ	流通:その他(メガネ・楽器・書籍・スポーツ等)
65 理研産業(株)(補聴器のりけん)	流通:その他(メガネ・楽器・書籍・スポーツ等)
66 大垣信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
67 中日信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
68 西尾信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
69 丸八証券(株)	金融:証券業
70 株式会社コンピュータリソース	情報通信:ソフトウェア・情報処理・情報サービス
71 都築電気(株)	情報通信:ソフトウェア・情報処理・情報サービス
72 株式会社エスケーアイ	情報通信:通信業・同関連
73 株式会社マイナビ	情報通信:インターネット関連サービス
74 株式会社グリーンズ	サービス:ホテル・旅館
75 株式会社ナゴヤキャッスル	サービス:ホテル・旅館
76 リゾートトラスト(株)	サービス:ホテル・旅館
77 生活協同組合コープあいち	サービス:協同組合・郵便局
78 トヨタ生活協同組合	サービス:協同組合・郵便局
79 太陽建機レンタル(株)	サービス:物品レンタル・物品リース
80 ジャパンレンタカー(株)	サービス:物品レンタル・物品リース
81 株式会社タレントリース名古屋	サービス:物品レンタル・物品リース
82 春日市役所	公務(地方)
83 警視庁	公務(地方)
84 豊田市消防本部	公務(地方)
85 豊橋市役所	公務(地方)

3月4日(水) スクール形式

No.	企業・団体名	業種
1	凸版印刷(株)	メーカー:印刷・印刷関連サービス
2	興和(株)	メーカー:化学・医薬・化粧品
3	タキヒヨー(株)	商社:繊維製品・衣服・身の回り品
4	株式会社京銀行	金融:銀行・信託銀行

3月4日(水) ブース形式

No.	企業・団体名	業種
1	名工建設(株)	建設業:総合(土木・建築)
2	三陽商會	メーカー:繊維製品・衣料
3	サンメッセ(株)	メーカー:印刷・印刷関連サービス
4	三井物産	メーカー:プラスチック製品
5	株式会社TYK	メーカー:窯業・土石・セラミックス・ガラス
6	文化シヤッター(株)	メーカー:金属製品・金属加工品
7	アイホン(株)	メーカー:情報通信機器器具
8	株式会社(株)東海ガス	電気・ガス・熱・水道供給業
9	東邦液化ガス(株)	電気・ガス・熱・水道供給業
10	愛知陸運(株)	輸送:陸上
11	丸山和運輸(株)	輸送:陸上
12	ヤマト運輸(株)	輸送:陸上
13	山九(株)	輸送:倉庫・物流・運輸関連サービス
14	株式会社カイ	商社:総合
15	トヨタL&F(中部支店)	商社:総合
16	名鉄百貨(株)	商社:総合
17	渡辺パイプ(株)	商社:総合
18	瀧澤名古屋(株)	商社:繊維製品・衣服・身の回り品

19 丹羽幸(株)	商社:繊維製品・衣服・身の回り品
20 万兵衛(株)	商社:繊維製品・衣服・身の回り品
21 モリリン(株)	商社:繊維製品・衣服・身の回り品
22 株式会社西原商會	商社:食品・飲料
23 ミツコボレーション(株)	商社:医薬・化学・化粧品・ゴム・プラスチック
24 株式会社ノクス	商社:金属・鉱物・金属製品
25 森定興業(株)	商社:金属・鉱物・金属製品
26 石原機械(株)	商社:機械器具・OA製品
27 株式会社井高	商社:機械器具・OA製品
28 株式会社光文堂	商社:機械器具・OA製品
29 株式会社進和	商社:機械器具・OA製品
30 ソニーリゾナルセールズ(株)	商社:機械器具・OA製品
31 第一実業(株)	商社:機械器具・OA製品
32 株式会社ダイロー	商社:機械器具・OA製品
33 デュプロ販売(株)	商社:機械器具・OA製品
34 東邦テクノロジ(株)	商社:機械器具・OA製品
35 株式会社ナ・デックス	商社:機械器具・OA製品
36 尾崎長崎子(株)	商社:建材・木材・再生資源
37 フジモトHD(株)(ビッググループ)	商社:医療衛生用品・日用雑貨品
38 ホシザキ東海(株)	商社:百貨店・総合スーパー
39 ミタチ産業(株)	商社:その他の製品
40 株式会社神製作所	商社:電子機器・電子デバイス
41 株式会社バロー	流通:百貨店・総合スーパー
42 株式会社鉄百貨店	流通:百貨店・総合スーパー
43 株式会社あかかん	流通:繊維・衣服・靴・身の回り品
44 株式会社プロジェクトファイブ	流通:繊維・衣服・靴・身の回り品
45 株式会社リリアン	流通:繊維・衣服・靴・身の回り品
46 トヨタカラー(愛知支店)	流通:自動車販売・自動車部品
47 株式会社順電機	流通:繊維・衣服・靴・身の回り品
48 いちい信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
49 東濃信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
50 豊田信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
51 豊橋信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
52 岡三証券(株)	金融:証券業
53 日本生命保険(株)	金融:生命保険
54 明治生命保険(株)	金融:生命保険
55 愛知信用金庫連合会(愛知信用金庫)	金融:協同組合
56 CMC Solutions	情報通信:ソフトウェア・情報処理・情報サービス
57 日本情報(株)	情報通信:ソフトウェア・情報処理・情報サービス
58 株式会社ジェアル東海ホテルズ	サービス:ホテル・旅館
59 株式会社名古屋東急ホテル	サービス:ホテル・旅館
60 株式会社Plan-Do-See	サービス:ホテル・旅館
61 株式会社ホテルグランドコート名古屋	サービス:ホテル・旅館
62 生活協同組合コープみえ	サービス:協同組合・郵便局
63 中京総合警備保障(株)	サービス:警備保障
64 株式会社タレントリース愛知	サービス:物品レンタル・物品リース
65 西尾レントオール(株)	サービス:物品レンタル・物品リース
66 株式会社魚国本社 名古屋本部	サービス:委託給食
67 日本年金機構	サービス:その他
68 海上保安庁 第四管区海上保安本部	公務(国家)
69 防衛省自衛隊 愛知地方協力本部	公務(国家)
70 愛知県庁(愛知県人事委員会事務局)	公務(地方)
71 長野県警察本部	公務(地方)

3月5日(木) スクール形式

No.	企業・団体名	業種
1	株式会社カン	商社:食品・飲料
2	ATグループ4版社(愛知ヨタ)	流通:自動車販売・自動車部品
3	株式会社古屋銀行	金融:銀行・信託銀行
4	愛知県警察本部	公務(地方)

3月5日(木) ブース形式

No.	企業・団体名	業種
1	大和ハウス工業(株)	建設業:総合(土木・建築)
2	トヨタホーム名古屋(株)	建設業:住宅
3	住友不動産販売(株)	不動産取引業(建物・土地)
4	貝沼建設(株)	不動産賃貸業(賃貸・管理)
5	積和不動産(株)	不動産賃貸業(賃貸・管理)
6	マルサンアイ(株)	メーカー:食品・食料

7 東海染工(株)	メーカー:繊維工業
8 長谷虎紡績(株)	メーカー:繊維工業
9 株式会社トモク	メーカー:パルプ・製紙・紙製品
10 小林クワイエ(株)	メーカー:印刷・印刷関連サービス
11 藤田電子工業(株)	メーカー:金属製品・金属加工品
12 日立コンシューマ・マーケティング(株)	メーカー:電気機械・照明
13 株式会社アトランス コーポレーション	輸送:海上
14 西濃運輸(株)	輸送:陸上
15 東濃運輸(株)	輸送:陸上
16 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)	輸送:陸上
17 名鉄運輸(株)	輸送:陸上
18 株式会社上組	輸送:倉庫・物流・運輸関連サービス
19 名港海運(株)	輸送:倉庫・物流・運輸関連サービス
20 株式会社橋屋	商社:総合
21 日通商事(株)	商社:総合
22 株式会社丸九	商社:総合
23 信友(株)(SHINATOMO)	商社:繊維製品・衣服・身の回り品
24 大東魚類(株)	商社:農畜水産物・青果物・卸売市場
25 正直屋コンフェックス(株)	商社:食品・飲料
26 シーエス薬品(株)	商社:医薬・化学・化粧品・ゴム・プラスチック
27 中北薬品(株)	商社:医薬・化学・化粧品・ゴム・プラスチック
28 井澤金属(株) 名古屋支店	商社:金属・鉱物・金属製品
29 株式会社ナデ	商社:機械器具・OA製品
30 中央工機(株)	商社:機械器具・OA製品
31 株式会社名古屋医理科商會	商社:機械器具・OA製品
32 パナソニック デジタルネットワーク(株)	商社:機械器具・OA製品
33 明治電機工業(株)	商社:機械器具・OA製品
34 株式会社オークローンマーケティング	商社:その他の製品
35 株式会社順電機	商社:電気設備資材
36 株式会社フロンティア	商社:繊維製品・衣服・身の回り品
37 藤久(株)	流通:繊維・衣服・靴・身の回り品
38 愛知田舎(株)名古屋支店(東海田舎グループ)	流通:自動車販売・自動車部品
39 トヨタカラー名古屋(株)	流通:自動車販売・自動車部品
40 株式会社ホンダカース愛知	流通:自動車販売・自動車部品
41 株式会社エディオン	流通:家具・建具・什器・家電・ホームセンター
42 ケーズデンキ (株)キヤン	流通:家具・建具・什器・家電・ホームセンター
43 株式会社コメリ	流通:家具・建具・什器・家電・ホームセンター
44 株式会社林業局	流通:その他(メガネ・楽器・書籍・スポーツ等)
45 株式会社アオキ	流通:その他(メガネ・楽器・書籍・スポーツ等)
46 株式会社サークルKサンクス	流通:その他(メガネ・楽器・書籍・スポーツ等)
47 株式会社メガネの和光	流通:その他(メガネ・楽器・書籍・スポーツ等)
48 愛知信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
49 蒲郡信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
50 桑名信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
51 知多信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
52 東春信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
53 豊川信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
54 半田信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
55 尾西信用金庫	金融:信用金庫・信用協同組合
56 SMBCフレンド証券(株)	金融:証券業
57 東海東京証券(株)	金融:証券業
58 豊証券(株)	金融:証券業
59 あいおいニッセイ同和損害保険(株)	金融:損害保険
60 日本電子計算(株)	情報通信:ソフトウェア・情報処理・情報サービス
61 株式会社名古屋観光ホテル	サービス:ホテル・旅館
62 愛知厚生農業協同組合連合会(愛知厚生連)	サービス:病院・医療・保健衛生
63 生活協同組合コープぎふ	サービス:協同組合・郵便局
64 ホリディスポーツクラブ(株)東洋	サービス:スポーツ施設・フィットネスクラブ
65 シダックス(株)	サービス:委託給食
66 メーキュー(株)	サービス:委託給食
67 国家公務員採用試験(人事院中部事務局)	公務(国家)
68 名古屋国税局	公務(国家)
69 岐阜県警察本部	公務(地方)
70 静岡県警察本部	公務(地方)
71 長野県商工労働部労働課	公務(地方)
72 名古屋港管理組合	公務(地方)
73 日進市役所	公務(地方)
74 三重県警察本部	公務(地方)

※各企業・団体の都合により参加日が
変わる場合があります

第4回東日本大震災ボランティア報告会

東日本大震災ボランティア報告会が昨年11月27日、けやきテラス3階ホールで実施された。今年度は7月29日から8月3日の日程で学生37名、引率職員6名が2班に分かれ、陸前高田市、住田町、大槌町にて災害復興支援のボランティア活動を行った。

7月29日夜8時に大学を出発し、翌日から住田町内、大槌町内それぞれの仮設住宅で



お茶会や、苗ポット作り、球根植え、花壇の整備等をしたほか、児童保育所で学習支援を行った。また、実際に津波被害のあった町を語り部さんと廻り、災害当時の想像を絶する状況を見て、涙する学生もあり、被害の甚大さや悲惨さを痛感させられた様子であった。4日間の活動を終え8月2日夜に現地を出発、翌3日朝に大学に帰着した。

報告会では佐藤悦成学長の挨拶の後、1班、2班それぞれの参加学生が活動内容をパワーポイントを使って発表した。震災から3年が経ったが実際に現地で活動をした学生たちからは「復興にむけて一歩ずつ進んでいるがまだ終わっていないわけではない。自分たちができることを進んでやっていきたい。」という感想や「3



年目で打ち切りになるボランティアが多いなか、4年目も活動を行っていることにも感謝された。」と充実感にあふれた声も聞かれた。発表後、青山校後援会長から「このような素晴らしい経験をより多くの人に経験してほしい。来年度も行います。」と力強い挨拶の後、高木敬一学生部長の閉会の挨拶で会を閉じた。

平成26年度クラブ優勝祝賀会開催



平成26年度クラブ優勝祝賀会が同年12月3日(水)に開催された。会場となった日進キャンパス・学院会館には、今年度(一部に前年度も含む)の間に課外活動において優秀な成績を収めた団体・個人の

クラブ部員をはじめ、大学関係者、大学後援会本部役員など多数の参加者が集まった。招待の対象となる団体・個人は、団体の部については日本代表、全日本選手権大会8位までに入賞、東日本・西日本大会などの地方大会にて優勝・準優勝、中部・東海・県大会にて優勝となった団体、また個人の部では、団体の部と同等の基準のほか、最優秀選手賞やベストナイン等の受賞を受けた者など、それぞれの活動において顕著な成績を収めたものが選出され、今年度においては団体表彰30団体、個人表彰96名が対象。

より学生の健闘を讃える挨拶、青山校後援会長の祝辞の後、クラブ顧問部長代表として、田畑康人サッカー部・ウエイトトレーニング部顧問、クラブ学生代表として、陸上競技部主将の安間健登選手(総合政策学科3年)が謝辞を述べ、高木敬一学生部長による乾杯の音頭があり祝賀会が始まった。



会の終了時には、全員での校歌斉唱が行われ、和やかな雰囲気の中で進行された後、閉会となった。

出席した各クラブの学生諸君については、部員一丸となつてさらなる成績の飛躍を目指すことを期待したい。

愛学祭

第62回 愛学祭

「パズル」つなぐチカラ・つながる「ココロ」

第62回愛学祭は昨年11月1日(土)、2日(日)に行われ、初日が天候に恵まれなかったにも関わらず、2日間であらゆる学生が来場した。

特に2日目には「片平里菜」さん、「BOYS AND MEN」の皆さんのステージがあったこともあり、過去に類を見ないほどの足を運ばれた。また、愛学祭実行委員の企画である「おけけ屋敷」では行列ができるほど人気を博し、子供から大人まで楽しめる企画となった。愛学祭実行委員が1年間かけて準備した努力が実を結び、最後の打



第1回 MKC愛学祭「NEW STAGE」

昨年4月に開校した名城公園キャンパスでは、第1回MKC(名城公園キャンパス)愛学祭が10月19日(日)に開催された。初年度の今回は、愛学祭実行委員の4年生OBが中心となり、同キャンパス

で学ぶ商・経営・経済学部、学生から実行委員を募って運営し、約1500名の方が来場した。

地域の方々とは一体となり、良い関係を築いていきたいという思いを込めた住民参加のビンゴ大会、子ども向けゲームコーナーのほか、ステージイベント、図書館イベントなどが行われた。また、近隣4校の小学生と本学学生が一緒に運営する「子ども横丁」では、本学経営学部の産学連携商品「くるくるなごみかん」「味鏡芋まんじゅう」などを販売し、多くの人で賑わった。同日は名古屋市中区の区民祭にも開催されており、会場間シャトルバスを運行してスタンプリーを実施するなど、地域の方々と交流を深める学祭となった。

2015年度愛知学院大学入試

「安心Net出願」を導入

本学の2015年度入試は、昨年10月実施のアドミッション・オフィス(AO)入試でスタート。11月には推薦入試も終了し、新年を迎えていよいよ入試本番の時期となる。

昨年度に引き続き学部への入試で「安心Net出願」を導入。「安心Net出願」で出願した場合、全試験で郵送出願に比べて5,000円割引となり、検定料負担が大幅に軽減される。

入学試験の詳細は、受験生サイトCampus Navi(「AGUナビ」で検索可)に掲載されている。

愛知学院大学大学院 入試日程

(問い合わせ: 大学院事務局)

研究科	出願期間	試験日
文学研究科・心身科学研究科 法学研究科・総合政策研究科	2015年 1月13日(火) ~ 1月21日(水)	2月6日(金)
商学研究科・経営学研究科		2月9日(月)

(問い合わせ: 薬学部事務局)

研究科	出願期間	試験日
薬学研究科・薬科学研究科	2015年 1月13日(火) ~ 1月21日(水)	2月3日(火)

(問い合わせ: 歯学部事務局)

研究科	出願期間	試験日
歯学研究科	2014年 12月8日(月) ~ 2015年 1月7日(水)	1月13日(火)

愛知学院大学法科大学院 入試日程

(問い合わせ: 法科大学院事務局)

個別・事前審査	出願期間	試験日
2015年 1月20日(火) ~ 1月26日(月)	2015年 2月2日(月) ~ 2月9日(月)	一般試験 2月28日(土) 法律科目試験 3月1日(日)

愛知学院大学 入試日程 (問い合わせ: 入試センター)

試験区分	学部・学科	出願期間	試験日
前期A	文・心身科学・商 経営・経済・法 総合政策	【安心Net出願】1月7日(水)~1月24日(土) 2015年【郵送出願】1月7日(水)~1月22日(木)(締切日消印有効) 【持参】1月23日(金)のみ	2月1日(日)~4日(水)【注1】
	薬学部		2月2日(月)・3日(火)【注1】
	歯学部		2月3日(火)
	短期大学部		2月1日(日)・3日(火)【注1】
前期B (前期A利用型 個別受験型)	全学部全学科 (薬・歯・短期大学部を除く)	【安心Net出願】1月7日(水)~1月24日(土) 2015年【郵送出願】1月7日(水)~1月22日(木)(締切日消印有効) 【持参】1月23日(金)のみ	2月1日(日)~4日(水)【注1】 (前期A利用型の場合、 個別試験は実施しない)
前期M	全学部全学科 (薬・歯・短期大学部を除く)		2月5日(木)
センタープラス	全学部全学科 (短期大学部を除く)		個別試験は実施しない
「センター試験」 利用試験Ⅰ期 (3科目型 4科目型)	文・心身科学・商・経営 経済・法・総合政策 薬・短期大学部	【安心Net出願】1月7日(水)~1月29日(木) 2015年【郵送出願】1月7日(水)~1月22日(木)(締切日消印有効) 【持参】1月23日(金)のみ	個別試験は実施しない
	歯学部		2月3日(火) (面接)
中期試験	全学部全学科	【安心Net出願】1月7日(水)~2月4日(水) 2015年【郵送出願】1月7日(水)~2月2日(月)(締切日消印有効) 【持参】2月3日(火)のみ	2月14日(土)
「センター試験」 利用試験Ⅱ期	文・心身科学・商 経営・経済・法 総合政策・薬	【安心Net出願】2月17日(火)~3月4日(水) 2015年【郵送出願】2月17日(火)~2月26日(木)(締切日消印有効) 【持参】2月27日(金)のみ	個別試験は実施しない
	歯学部		3月10日(火) (面接)
後期試験	全学部全学科	【安心Net出願】2月17日(火)~2月28日(土) 2015年【郵送出願】2月17日(火)~2月26日(木)(締切日消印有効) 【持参】2月27日(金)のみ	3月10日(火)

【注1】試験日は出願時に選択してください。試験日が異なれば同一学科および他学科を併願することができます。